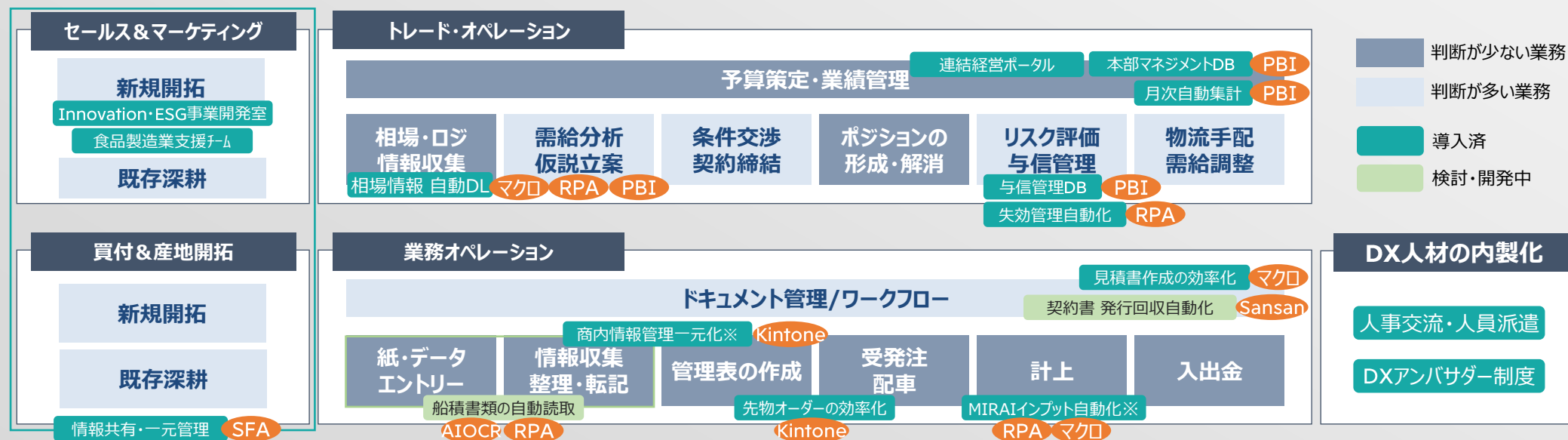


業務効率化関連

自動化・可視化・クラウド化

物流Execution業務改革

- ◆ 食料本部の物流業務における事務処理・単純作業を徹底的に効率化し、**既存の人員規模でも取引の拡大に対応できるシステム環境を実現**する。



具体例.

- ・商内情報管理一元化：輸出入業務において、Kintone活用により、散在するExcel管理表を集約・SIMOを実現。社内外の関係者とリアルタイムで情報共有が可能に。
- ・MIRAIインプット自動化：国内物流業務において、RPAを活用し、月間600件以上の基幹システムでの出庫計上作業を半自動化。

業務効率化関連

輸入貿易業務の自動化・省力化

◆ システム概要

- 輸入貿易業務における、船積書類のチェック及びMIRAI等への船積計上・荷捌依頼と書類格納に関連する単純作業を自動化し、取引拡大に伴うBI・派遣職のコストを抑制して収益拡大に貢献。
- SeaDashの導入により、船積書類のチェックからMIRAI計上までの業務時間が約3割削減される見通し。

◆ 取組みの流れ

- Phase1(22年10月~25年12月): システム開発・トライアル・検証
Phase2(26年~): 食料本部での導入準備
Phase3(26年~): 他本部でのSeaDash導入可否の調査・検討

◆ 技術

- プラットフォーム: xStraBPM 
- 船積書類の読取(AIOCR): Flexicapture 
- データのチェック・照合: NaU 
- MIRAI転記: BluePrism 

<システム概要図>

